

大阪工業大学
應援團結成準備委員会
会報



発行所
大阪工業大学應援團結成準備委員会
発行責任者 津田 実
編集責任者 橋本 健一
大阪市旭区大宮5丁目16の1
TEL (06)952-3131



会報第六号新春号

集 体育会総部秋期試合結果報告
特 昭和五十三年度團員紹介

第十六代團長挨拶

大阪工業大学應援團
團長 津田 実



慎んで新春の御慶びを申し上げます。寒さ厳しき冬期休暇を各自有意義に過ごされたことと思います。がいつまでも正月気分には浸っている訳にもいかぬでしょう。学生の本分は何と言つても学業にあるのですから、まして後期試験を目前にしている現在、各自全力を發揮して試験に望んでほしいものです。

扱て、現在の工大学生の中には、学内および学外に於いて行われる諸行事に積極的に参加して、母校の発展のために尽くそうという者が少なくない、学業のみに学生生活を全く費やすというようでは、何故ならば、工大学生の一人一人

少々物足りなく虚しいのではないのでしょうか。現状に於いてとすれば学業も疎かにして、アルバイトとか遊びばかりに夢中になり大事な学生生活を無駄に送っているということに成り兼ねないと思えます。そういった事が、無関心・無関係・無責任という言葉で世間から見られるのであり、学生生活を送る者にとって最悪な結果を生み出すのです。母校工大の発展と一般学生の志気高揚のことを考えると、工大学生の中にそういった無関心・無関係・無責任な学生が一人でもいてはほしくないのです。

新しい時代の波は、常に我々へ

が工大という大規模な組織の中の歯車であり、その一つ一つが噛み合つてこそ工大が生命を持ち、工大の発展に役立つのですから。即ち、全学生が諸行事に参加して、母校の名を高め、輝かしい発展を遂げることがより一層学生諸君の志気高揚と人格形成を促し、学生生活を有意義なものにするのではないのでしょうか。そのために我々が目指す應援団の活動が、工大の発展と全学生、つまり工大という大規模な組織の躍進とその歯車の潤滑油となり糧となれば幸いです。

と押し寄せて来て渦巻いているのを歯車の中で先輩方が今日まで築かれて来られた伝統を守り、前向きな姿勢で着々と應援団結成のため、我々全員一丸となり日夜活動に精進して居ります。我々が目標としている應援団は伝統を守り、時代の波に適應させながら、常に工大の発展と名誉のため自己犠牲を恐れず、表に出ずとも陰からでもその源動力と成り得る組織でなければならぬと信じます。

尚、我々が目指す應援団は、工大の全学生から信頼され且つ慕われる應援団でなければならぬ。

つた有志の集まりであることに絶対に変わりある事はありません。應援団現役諸君も昨今、地方よりの新入生も多く入学されその方たちが少しでも早く学園の雰囲気に入生歓迎のソフトボール大会を催したり、秋の祭祭では演武祭・ピクニックなども他クラブと共に企画遂行し、学園を盛り上げる為学生相互の和を計りつつ微力ながら諸行事の後援などを進んで居ります。そして卒業後は色々な方面で御活躍の先輩方や同輩と後輩達と工大卒業の誇りを持って共に手を取り合い、社会人としての責任を果したく思う次第であります。無論言うまでもなく現役諸君は現役中にそう言う気持ちは十二分に持たれていることと思いますが、厳しい社会状況下にあつて我一人

現役諸君に望む

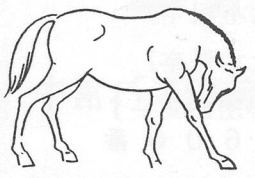
監督 内田 良弘

謹賀新年
校友の皆様、明けまして御目出とう御座居ます。昭和五十二年度の年頭に際しまして、学友諸君にはそれぞれに新しい気持ちで抱負なりをお持ちの事と思えます。とりわけ、今春卒業され社会人となられる四年生の諸君には近年来の不況の波を厳しく痛感感じられ多少の不安感も抱かれていますか、いやそれにも増して新しい人生への出発に対しての希望の方が大きかろうかと存じます。

扱て、学園内に眼を向けますと、和二十八年結成以来、変わらぬ混雑前の学園紛争当時と比べるかに落着きを取り戻し、現役諸君も学問に、課外活動にと励まれる最良の状態になつて居る様に思われ、卒業生の一員としても喜ばしいことと存じます。その間、開校以来五十有余年、様々の障害もございましたが、一貫して大阪工業大学発展の為に熱意を持って尽くして来られました学園関係諸氏の御尽力の賜物と思えます。その中にありまして、應援団も昭

それ故、民主的・全学的な應援団を出来得るだけ速く結成すること、全学生にとって重要であり、現状の工大に於いて必要欠くべからざる事だと強固に思っています。我々のもっている信念とは、自己滅却を恐れぬ犠牲的精神であり、母校の発展を祈り、個人的人格形成に役立つことなのです。以上のような全應援団を結成するためにも、我々自身的人格形成および向上を図り、団結を深め確固たるものにするには元より、皆様方の暖かい御理解御支援を賜ることが必要であります。そのためには、我々一同益々奮励努力致す所存です。

本年は午年でもございませぬ。天馬の如く大いに空を駆けめぐり飛躍されませう。大阪工業大学発展と校友諸君にはより良い一年であります様心から御祈り致します。



昭和五十三年 度 團 員 紹 介

團長

津田 実
(I・経工・4)
兵庫・篠山鳳鳴高校

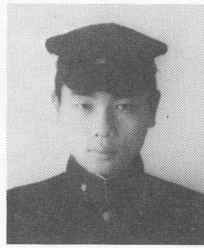


工大に應援あり、應援にこの人ありとは、演武祭の口上に出て来る言葉であるが、この團長にはびつたりの言葉である。と言うのも、應援の柱である團長と言う役職に、大変ふさわしい人格を持った人だからである。

自分の信念を貫き通す性格上、近より難しい人であると言っている。そして誰よりも應援の事を考えている。その為、應援の活動に大変厳しく、特に稽古に対しては、ことさら厳しい人である。しかし、一度應援の活動から離れると、驚く程、楽しんで、また後輩思いの人である。宴会になると、この人は丹波篠山の出身であるので、こぶしのよききいたデカンショ節が出る。酒が入ると陽気になるのである。

副團長

片山 一明
(I・土木・3)
富山・井波高校

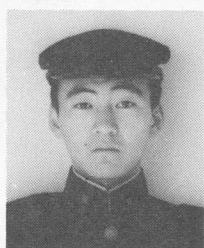


顔立ち、体格から見ても非常にやさしそうであり、性格も温厚な人である。しかし、應援活動を行なっている時は、きびしく、かわい。だからこそこの人は、副團長という役職に付かれたのだらう。

この人は、酒もめつぼう強く、酒を飲んだ時の特長といえは、深酔いしてもすぐにごつすり寝てしまふ。飲んでも人に迷惑を掛けない事である。又、タバコも好きで、しみじみと味わって吸っており、その吸い方を見ていると回りの者も吸いたくなるほどである。しかし、最近ある事があり禁煙しているそうである。

副團長

村上 一道
(I・経工・3)
大分・鶴崎高校



この人に副團長を任せれば團長不在の場合でも、その職を無難に代行できる活動に支障をきたす心配はない。

稽古中においては、フアイトを保持して苦しい稽古をやりこめて来ている。それ故に後輩には、思いやりの心を持って接しているのだらう。

副團長

橋本 健一
(I・土木・3)
大阪・鳳高校

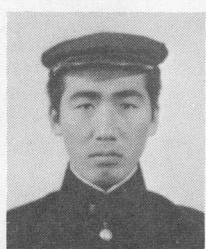


この人は、生粋の河内生まれで河内育ちのせい曲つた事のきらいな人物である。頭の回転は、コンピュータにも勝るとも劣らぬ程速く、皆を引っぱっているだけの技量と器用な十二分に兼ね備えている。何事に対しても率先してやる性格であり、事務的処理も敏速且つ正確に行うため、総務部長に選ばれたことに頷ける。

稽古中に於いてはリーダー部の経験があるだけに幹部の中でも大変厳しく此の人に一声喝を入れられると、ゆるみかけた気合もしつかりして来る。反面、後輩への指導は丁寧且つ適切に教える。又、体力も人一倍すぐれ体も柔軟な上スマートであるので、リーダーの型となる理想的な振りをしている。ただ少々正座は苦手らしく、合宿などで正座をするとうじと耐えているのが分かる。

プラスバンド部長

森井 直治
(I・土木・3)
石川・星稜高校



應援團随一の体格の持ち主であり、特技としての柔道は二段という腕前で、その力は應援團にとって頼もしい限りである。それ故に太鼓の皮が破れるのではないかと、思わせる程の大きな音を鳴らし、豪快に太鼓を打っている。さらに昨年は素人日傘会でも、豪快ぶりを発揮し優勝という栄誉を勝ち取っている。プラスバンド部長として自分の持つフアイトをプラスバンド部につけ、より一層盛り立てていくものと確信している。

毎日二時間以上もかけて学校に通いながら、勉強と此の活動を両立させているという根性の持ち主である。そして、その真面目な性格と綿密な頭脳は、活動資金源である会計という任務を任せるに相応しい人物である。

リーダー渉外部長

奥山 政志
(I・土木・2)
兵庫・姫路南高校

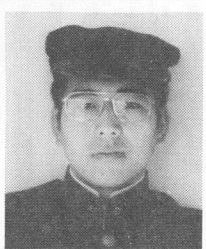


應援團の外面的な仕事を一手に引き受けるリーダー部・渉外部では、他大学との交流もこの人の腕にかかっている。そして野球等各部の対外試合の應援にも大きな力を発揮してくる事である。

毎日二時間以上もかけて学校に通いながら、勉強と此の活動を両立させているという根性の持ち主である。そして、その真面目な性格と綿密な頭脳は、活動資金源である会計という任務を任せるに相応しい人物である。

情宣部長

栗本 忠男
(I・電子・2)
愛知・名南工業高校



應援團の情宣活動の中心で、いつも急がしく駆け回り回っている。又大学の先生はもろん他クラブにも顔が広い。勉強の方でも教職課程の授業を受けているという独力家である。情宣部長でありリーダー部で旗手部でもある。しかも学校を離れ、寮でも風記委員を任せられている。一つの体でよくやりにげていると思ふ事もある。

毎日二時間以上もかけて学校に通いながら、勉強と此の活動を両立させているという根性の持ち主である。そして、その真面目な性格と綿密な頭脳は、活動資金源である会計という任務を任せるに相応しい人物である。

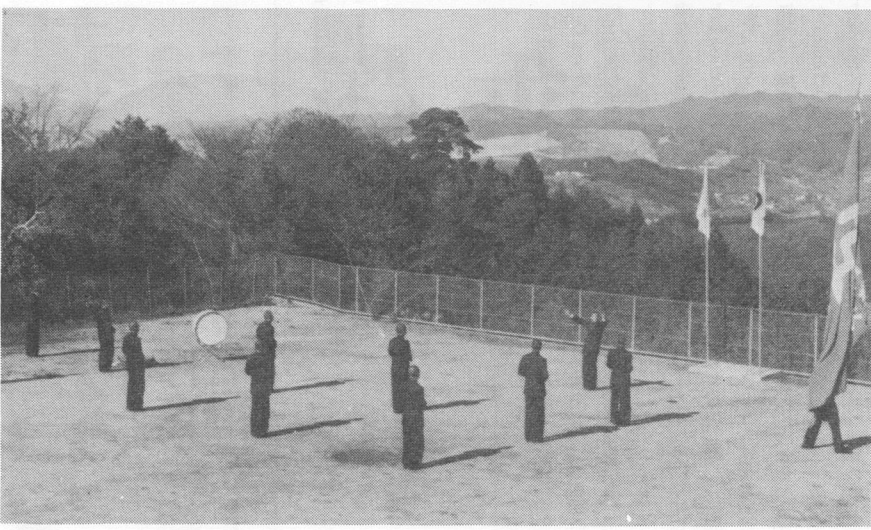
井上弘康

(I・建築・1)
大阪・工大高校



應援員以外との付き合いも仲々広く、体つきはがっしりとしており、應援團にふさわしい体格の持ち主である。

毎日二時間以上もかけて学校に通いながら、勉強と此の活動を両立させているという根性の持ち主である。そして、その真面目な性格と綿密な頭脳は、活動資金源である会計という任務を任せるに相応しい人物である。



稽古風景

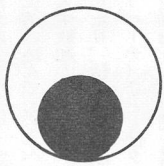
土木工事・設計・施工

小野建設

代表者 小野 英之

住所 奈良県生駒郡斑鳩町興留6丁目22番13号

TEL 07457-4-1580 番



土木・建築総合設計施行

塩崎建設興業株式会社

代表取締役 塩崎 恭介 (40年土木科卒)

工事部長 内田 良弘 (44年土木科卒)

住所 大阪府南河内郡狭山町半田1665-1
TEL 0723-65-6600 番

特集：体育会総部秋期試合結果報告

昭和52年9月5日～昭和52年12月11日

硬式野球部 (秋期リーグ戦) 9・5 工大10-2府大 6 工大5-2府大 15 工大6-0和太 16 工大4-1和太 18 工大0-15神大 20 工大4-9神大 24 工大13-12歯大 25 工大2-1歯大 27 工大0-2高大 28 工大3-7高大 結果 5勝5敗 II部リーグ第3位	準硬式野球部 阪神六大学準硬式野球部 (秋期リーグ戦) 10・21 工大14-0歯大 22 工大13-4歯大 24 工大5-3府大 26 工大3-2府大 27 工大6-2商大 29 工大2-4商大 31 工大7-0市大 11・1 工大4-2市大 2 工大7-0教大 7 工大6-0教大 結果 9勝1敗 優勝 大阪工業大学 二位 大阪市立大学 三位 大阪商業大学 四位 大阪府立大学 五位 大阪歯科大学 六位 大阪教育大学	硬式野球部 北大阪ブロック優勝 同チャレンジ戦 10・22 工大2-4神商大 10・9 工大3002-3685桃山 三大学新人定期戦 10・23 工大2116-2116府大 第三位 10・23 工大2382-2132関大 第二位 大阪工大対市大定期戦 11・3 工大4150-4334市大 大阪工大対府大定期戦 11・6 工大4153-447府大	サッカー部 関西学生リーグ戦 (秋期リーグ戦) 9・11 工大13-1大外大 15 工大4-1歯大 18 工大5-1大医大 23 工大4-1経法大 10・2 工大4-3関西外大 10 工大5-1大院大 16 工大2-2大産大 結果 7勝1分け III部リーグ	ボクシング部 (第31回近畿ボクシングリーグ戦) 10・21 工大2-5桃大 23 工大5-1関外大 30 工大4-3同志社	空手道部 全関西団体戦 10・9 一回戦 工大4-1電通大 二回戦 工大0-4天理大 全日本学生空手道選手権大会 11・27 一回戦 工大1-3九州歯大	卓球部 関西学生卓球秋期リーグ戦 9・29 工大1-3阪大 30 工大3-1京工維 工大3-1桃山学 工大0-3立命 工大3-0和太 結果 3勝2敗 第4部リーグ 第4位 以上	陸上部 関西学生駅伝競走大会 近江八幡市役所前出発・ゴール 12・11 第一区 野上昌宏 51分43秒 第二区 中田行則 24分19秒 第三区 仲井孝幸 32分27秒 第四区 米原功 34分27秒 第五区 安部公司 36分35秒 第六区 遠村正彦 40分24秒 第七区 原田賢治 1時間5分30秒 結果 23位 4時間45分25秒	洋弓部 大阪工大対桃山新人戦 10・9 工大3002-3685桃山 三大学新人定期戦 10・23 工大2116-2116府大 第三位 10・23 工大2382-2132関大 第二位 大阪工大対市大定期戦 11・3 工大4150-4334市大 大阪工大対府大定期戦 11・6 工大4153-447府大	合気道部 全日本合気道選手権大会 11・19 団体戦 一回戦 工大3-2宮崎支部 二回戦 工大3-1富山支部 三回戦 工大0-3大院大	バレーボール部 (秋期リーグ戦) 9・9 工大1-3大経大 11 工大1-3京大 15 工大3-0和太 18 工大2-3追手門 25 工大3-0阪大 10・2 工大0-3京教大 結果 2勝4敗 IV部リーグ第6位	不動権少林寺拳法部 第11回全日本学生選手権大会 11・30 団体戦 一回戦 工大4-0関大 準決勝戦 工大2-1近大 決勝戦 工大2-3関学 結果 団体準優勝 大阪府優勝大会 9・15 Bチーム 一回戦 工大0-10医大 二回戦 工大×0桃大
--	--	---	---	---	--	---	---	---	--	--	---

祝優勝

阪神六大学秋期リーグ戦 準硬式野球部観戦記

冬の気配をひしひしと感じる去る十一月八日、住之江球場に於いて、優勝をかけた大阪工業大学と大阪教育大学との準硬式野球部の試合が行われた。

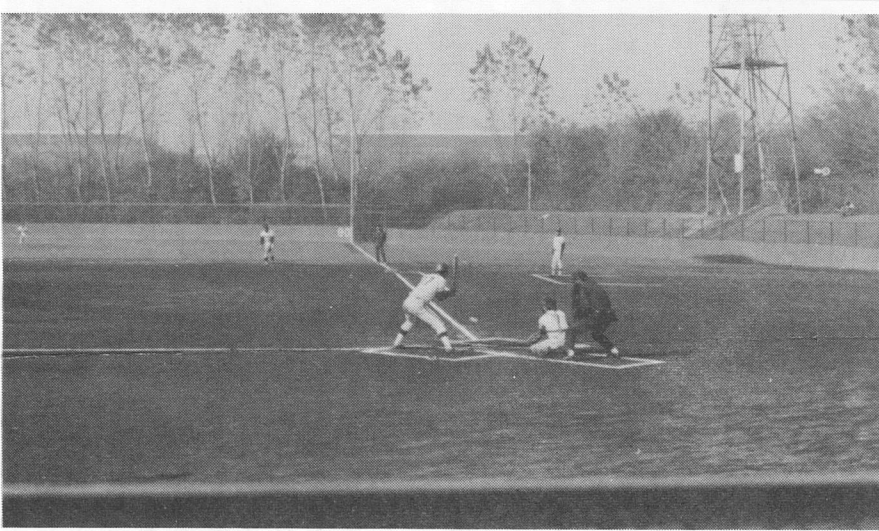
十月二十一日の開会式が行なわれてから、工大は八勝一敗の成績だった。今日の教育大に勝てば、阪神六大学(大阪工業大学・大阪市立大学・大阪教育大学・大阪府立大学・大阪商業大学・大阪歯科大学の六大学である。)準硬式野球部秋期リーグ戦I部に優勝する大事を試合であった。

このような大事な試合なので、私は試合前に緊張しながら大学歌を歌った。しかし二・三・四回と試合を応援していると、工大が有利になり緊張感が取れ、もう優勝

は決まったという安心感で試合を応援していた。圧倒的に工大が強い事がわかり、工大が守りの時は皆思っている声を援を、またやじを飛ばして完全なる工大ベースになつていった。我々の応援は、「工大くすし」を踊り工大の余裕のある所を見つけた。結局六対〇で圧倒的勝利を得た。

優勝おめでとう、選手が前に整列し、我々が大学歌を歌い、顧問の先生を胴上げする光景を見て、私もおもわず微笑を口もとにたたえたものである。

このように大事な試合なので、私は試合前に緊張しながら大学歌を歌った。しかし二・三・四回と試合を応援していると、工大が有利になり緊張感が取れ、もう優勝



準硬式野球部試合風景

第十三回音楽祭 観賞記

第十三回音楽祭(主催：大阪工業大学文化会)が、昭和五十二年十月二十一日、森の宮青少年会館大ホールで開催された。我々は大阪工業大学文化会本部に招かれ鑑賞に行く。今回の音楽祭のテーマはこの祭を一層盛り上げる事であり、文化会全体のクラブがこれをバックアップしていった。

我々がホールの中に入ると、会場の半分は四百人ぐらいの人が入つていて、三分の二ぐらいは女性であった。しかしオープニングが始まる頃になると七百人ぐらいになつていった。オープニングは、大阪成蹊学園短期大学のバントワラーによるバントワリングで始まつた。聖者の行進の演奏によくあつていてチームワークが良かった。我々応援団もバントワリング部と合同に応援すれば、もっと華やかで盛大な応援になる事であらう。

音楽祭のI部は、軽音楽部・ギター部・フォークソング部・尺八部・フォークソング部・軽音楽部というふうなクラブが出演していた。私が気に入ったのは詩吟部の「川中島」が良かった。す。鞭声(べんせい)といふくし(く)で始まり上杉謙信と武田信玄の二戦を語りあげられた。このように堅い詩の後で、「おそらおぼちゃん」という歌を歌つたフォークソング部の竹崎鈴というバンドはすごい人気がありました。

秋期リーグ戦は、全国大会が行なわれないけれども次の春期リーグ戦には、是非とも大石玉将の下丸となり、秋期リーグ戦優勝に続いて春期リーグ戦も優勝して、全国大会で健闘してくれる事を期待する。

副團長 片山 一明

この人気はおもしろい歌といつてはなんだが、ちょっと風変わりな曲ばかり歌つていたのであるのさ。

最後のエンディングでは、会場みんなを含め、全員で歌う所がありとても盛り上がりつた。しかしこの音楽祭を聞いていて非常に疲れた所があつた。それは進行係であつた。上がつていたので、幾度か言葉を忘れ、又「エート」という言葉が話の中に入ったのは、我々には聞きにくく何を言つているのかわからない所があつた。途中でしらけてしまいました。進行係はしっかりした人がやればもっとこの音楽祭を盛り上げた事と思ひます。

私は音楽の事に関しては、あまり良くわからないが、歌や静かな演奏に対してロック調のものも混ぜてあり、なかなかうまい変化にとんだ構成があつたように思ひます。今回が初参加のクラブもあつて少しごちない所があつたが、各クラブそれぞれ良く考えて努力を尽くしていたのでたいへん盛り上がりつた。会場全体が音楽を愛し愛して楽しんでいました。今回の音楽祭は、参加クラブも増えたそうで大成功だったと思ひます。音楽祭が終わつた後、今回のアンケート調査を行つたが、良い考えだと思ひます。そのアンケートを参考に、ますます、次の音楽祭を大きくしていつてもいいと思います。

会計部長 前田 兼弘

学割店 貸切OK (御1人3,000~5,000円)

喫茶・スナックラウンジ

らんぐる

中宮バス停前 TEL 955-4386

木のおおりのコーヒーハウス

TOGETSU

大阪市旭区中宮5丁目5-18 TEL. (06) 953-7613

喫茶 & スナック

レインボー

!!明るく楽しいお店一度おいで!!

大阪工業大学正門通 TEL. 955-4354

秋期合宿を終えて

期間 11月21日～11月27日
場所 奈良県吉野郡吉野町
奈良県立青年の家

総務部長
橋本 健一

当合宿は授業期間内の十一月二十一日より一週間、奈良県の吉野に於いて行なわれた。もちろん授業のある者は学校へ行き、再び合宿に戻ると言う言葉も重視したものであった。

この合宿は、現在の若者(自分達)も含めて、が忘れてしまっている日本人の心を学ぶ事によって新幹部の下全員の和を図る事を目的として行われた。また今回の合宿に於いての費用を、全て前幹部の方々の御好意により、自分達で出す事もなく行われた事には深く感謝しています。

扱、今回は今までの合宿同様十一月二十日に大宮神社へ参拝し翌二十一日朝八時旧体育館前へ集合し始まった。これより電車を乗り継ぎ一路合宿地である吉野をめぐり、昼前には、合宿所である奈良県立青年の家に到着、その後合宿所長によるガイダンスと入った。このガイダンスでは、合宿の目的である日本人の心につながる礼節をわきまえる、誠意を尽くす等、人間として当然の心構えを聞き自分達もなるほどと感じた。それを終えて今度は合宿地の吉野神社へ大宮神社同様全団員が無事事故起す事なく合宿を終え、多くの成果を得られる様に参拝した。

今更自分達が経験して来た合宿では、これより厳しい稽古と入るのだが、当合宿は、まず合宿目的を頭へ入れ、現在までの歴史を知り、今後の活動のより活発なものとする為、O Bの方々の指導による講義が午後夜と続けられた。この数時間の講

義で自分達應援團員は礼儀を尽くす中にも何事にも動ずる事のない精神を持ち、人間としてこの行動は間違っていないかと言う事を常に頭に置いて行動せねばならぬと言ふ事を学んだ。この後、各自今日の反省を行い初日が終了した。

二日目の本格的な合宿となった。早朝五時半起床、まだ夜が明けきっていない六時より足が凍りつくようなアスファルトの道をラニングした。この時ばかりは、かき足に慣れていると言っても、大阪へ逃げて帰りたい気持ちであった。午前中はO Bの方々の講義、自分達全団員同志の和を図る為のミーティング、また厳しい稽古が最終日の二十七日まで連日続いた。午後稽古、講義、ミーティングはもとより、團員相互の和作り、O Bの方々の親睦を深める意味でのリレーション、オリエンテーション等が行われ、夜もまた同様な事が行われた。

扱、今回の合宿で特に印象として感じた事は、御忙しい中自分達の為に無理に時間を割いて下さるO Bの方々の御好意が御座り下さった事である。特にリレーションのバスケットボールで共に汗を流した事や、将棋大会でひざを交えた事、オリエンテーションで十キロの道のりを地図と磁石のみで、一緒に考えながら標識を捜した事、またそれら以上に最終日に美しく紅葉した吉野の山道をのんびりと歩き回り、ゆいしある寺や神社を見学した事等が今でも目につくほど頭の中に浮んでくる程強い印象として残っているし、又今後社会へ出ていっても、これら思い出として残ると思

副團長 村上 一道

我々は、昭和五十二年十一月二十一日より一週間、奈良県吉野郡吉野町「奈良県立青年の家」で、秋期合宿を行うことになった。この合宿は、前幹部の方々の御好意によるもので、我々は何の負担もなく合宿することが出来ました。出発の前日に、我々は合宿期間中誰も怪我することなく無事合宿出来るように、大宮神社に行き御祈禱して戴いた。今の若者にとって、このような事は古くさいかも知れないが、自分は日本人だと自覚すれば当然すべき事だと思

さらには最終日の納会に於いては、雰囲気も最高潮と達し、先輩・後輩なく皆村等に酒を飲み明かし、また、歌を歌い、最後には全員輪

いかなが、かなり苦しんだ。青年の家に着き、まず職員さんの説明を聞いた。この施設・設備等は、研修にもってこいの場所であり、健全な青年を育成することを目的としているだけのことはあると思つた。又、礼義・規律・時間には厳しく、団体生活をする者にとつて、このことは必要不可欠からざることを思う。自分ら應援團にとつて日頃からこのようなことは教えられているので、何の苦にもならないことだ。昼食を済ませ、午後から早速ミーティングに入る。今まで眠たそうにしていた團員の目が輝き、何かを得ようと思つた。その日は、道具や荷物の整理で少々煩しかったが午後十時消燈で全員就寝した。

毎朝、五時三十分起床、六時より早朝稽古だった。十一月下旬という、初冬である。六時といえ、外はまだ暗く寒さも厳しいのである。そんな中を我々は、素足で掛掛けを掛け、来る時大変だったあの坂道を走らされた。体は温かくなるのだが、足先の感覚はなくなり痛む程である。何故かこれ程までに自分を苦しめるのか、靴をはかばいいじゃないかと思つた。自分達は体力をつけなければならないが、自分達を苦しめるだけではないかと思つた。そんな中を我々は、素足で掛掛けを掛け、来る時大変だったあの坂道を走らされた。体は温かくなるのだが、足先の感覚はなくなり痛む程である。何故かこれ程までに自分を苦しめるのか、靴をはかばいいじゃないかと思つた。自分達は体力をつけなければならないが、自分達を苦しめるだけではないかと思つた。

この合宿は稽古ばかりではなく、O Bの方々と一緒にバスケットボールのリレーションをしたり、ポイントを採って回るオリエンテーションをやり、團員の心が和む時もあった。バスケットの時などは、O Bの方々は社会にでられては、体の動きも現役の時とは、段違いなものであるが、さすがに應援團を四年やりとげたことだけはあり、気迫に於いて我々現役は、まだまだおぼやかないと感じた。

又、夕食後一時間ミーティングをやった。O Bの方々の御意見を拝聴したり、互いの意見をかわして吉野の自然に囲まれた静かな夜の一時を過ごしたのである。この奈良県立青年の家では、毎朝ラジオ体操をして、夕べのついでに国旗を降納する。やはり、健全な日本青年を育成することを目的としているだけあって、国旗「日の丸」を見ていると、日本人の伝統というものを感ぜない訳にはいかない気がする様だ。

最終日の二十七日は、午前中研修をやり、それから吉野の名所・旧跡を見学して回った。まず吉野神社を参拝した。この吉野神社は吉野山の山頂に世間に知られており、御祭神は建武中興の後醍醐天皇である。自然と一体化して我々の心に何とも言えぬ思いを浮ばせる様であった。蔵王堂や町のたつたまは閑静であり、大阪市内に住んでいる我々にとつて吉野の自然・大気は心の洗浄してくれたい運いがない。その夜は国民宿舎「吉野山荘」でこの合宿の打ち上げコンパをやったが、皆、心ゆくまで酒をあおって眠ってしまった。

この合宿は稽古ばかりではなく、O Bの方々と一緒にバスケットボールのリレーションをしたり、ポイントを採って回るオリエンテーションをやり、團員の心が和む時もあった。バスケットの時などは、O Bの方々は社会にでられては、体の動きも現役の時とは、段違いなものであるが、さすがに應援團を四年やりとげたことだけはあり、気迫に於いて我々現役は、まだまだおぼやかないと感じた。

1月		2月		3月	
9(月)	授業再開	31(火)	編入学試験	1(水)	後期補講
10(火)		1(水)	休講	2(木)	← 合格発表 (一般)
11(水)		2(木)	休講	3(金)	
12(木)	後期補講時間割発表	3(金)	休講	4(土)	
13(金)	学生証写真提出締切	4(土)	休講	5(日)	
14(土)	後期試験時間割発表	5(日)	一般入試	6(月)	後期試験
15(日)	成人の日	6(月)	後期試験	7(火)	
16(月)	振替休日	7(火)		8(水)	
17(火)		8(水)		9(木)	
18(水)	後期授業終了	9(木)		10(金)	後期補講
19(木)	後期補講	10(金)		11(土)	
20(金)		11(土)		12(日)	
21(土)		12(日)		13(月)	
22(日)		13(月)		14(火)	
23(月)		14(火)		15(水)	
24(火)		15(水)		16(木)	
25(水)		16(木)		17(金)	
		17(金)		18(土)	
		18(土)		19(日)	
		19(日)		20(月)	
		20(月)		21(火)	
		21(火)		22(水)	
		22(水)		23(木)	
		23(木)		24(金)	
		24(金)		25(土)	
		25(土)			

求む!

本委員会では活発に行動する為、学生諸君が活動に参加される事を期待しています。

大阪工業大学
應援團結成準備委員会

城北公園東50m (工大寄り)
喫茶・スナック

エル

A.M 11:00~P.M 2:00
TEL. 955-4317
951-0934

お気軽に御利用出来るみんなのお店

喫茶
ルーブル
COFFEE

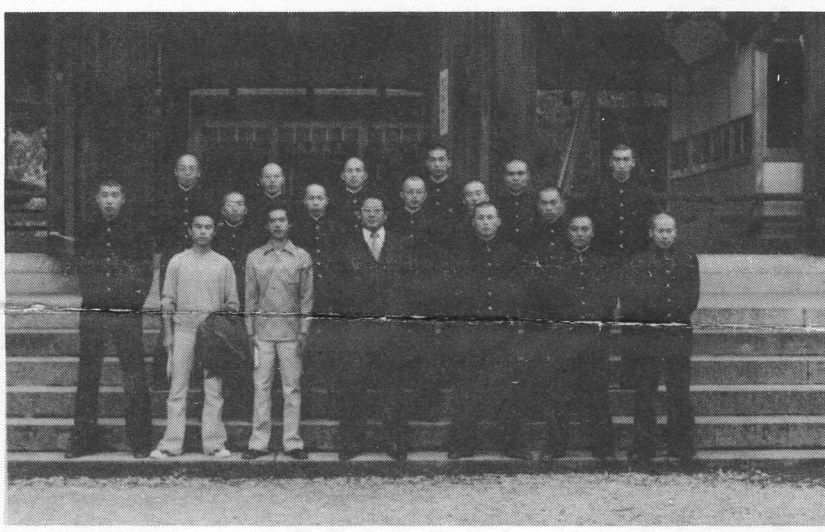
Louvre

旭区中宮5-6 (大阪工大正門前)
TEL. 951-2220

麻雀するなら

大宮荘

工大生協前



吉野神社にて